

# あるけれど 92%

## 新規施策見送り政策的経費抑えての予算

予算審査特別委員会を開き、平成26年度予算について、審査を行いました。

平成26年度一般会計は250億3千万円、特別会計は178億4917万円、合計で、428億7917万円となり、平成26年度は市長選挙が行われるため、骨格予算編成であるとの提案がありました。そして6月議会に補正予算として、市長の政策的な経費など、今回計

上されなかった経費を肉付けして、通年

予算とすることでした。

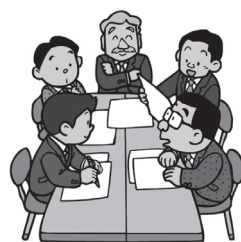
予算編成の方針として、定住人口減少を抑制し、地域活力の低下を食い止めるため、「市外からの転入促進」「市外への転出抑制」の両面から、子育てや教育、雇用・産業振興、住居等生活基盤の整備、自然環境など各分野での定住促進を念頭にしたことでした。政策的経費が少ない予算であるけれど、特

色ある子育て政策、産業振興に取り組むべきではないかとの意見がありました。

財政的視点から、対前年度比一般会計92%、さらに特別会計を含めると96.3%となり、財政の硬直化が進んでいるのではないかと、また、朝倉市の労働人口は減少しているため税収減が予想される。今後は大型事業が山積し、さらに市域が広いため投資効率が低いので、財源の確保が必要であるのではないかなどの指摘がありました。

朝倉市活性化のため朝倉市活性化のための、祭りなどのイベントについて、市全体での目的が明確になっているのか、また、「ふるさと課」が協働のまちづくりを推進するために、他の部署に

ある区会長連絡事務を所管すべきではないか、などの質疑がなされました。



区分	平成25年度当初予算額	平成26年度当初予算額	対前年度比較			
			増減額	増減率		
一般会計	272億4000万円	250億3000万円	△22億1000万円	△8.11%		
特別会計	住宅新築資金等貸付	995万円	977万円	△18万円	△1.82%	
	簡易水道	612万円	833万円	221万円	36.15%	
	国民健康保険	事業勘定	80億2245万円	82億7685万円	2億5439万円	3.17%
		直診勘定	77億5643万円	79億8742万円	2億3098万円	2.98%
			2億6601万円	2億8943万円	2341万円	8.80%
	後期高齢者医療	8億3526万円	8億3954万円	427万円	0.51%	
	介護保険	保険事業勘定	55億9222万円	57億2271万円	1億3048万円	2.33%
		介護サービス事業勘定	55億6936万円	56億9981万円	1億3045万円	2.34%
			2286万円	2289万円	3万円	0.15%
	下水道事業	21億1796万円	22億8387万円	1億6590万円	7.83%	
	農業集落排水事業	4億2118万円	4億2254万円	136万円	0.32%	
	個別排水事業	2億6492万円	2億8507万円	2015万円	7.61%	
	工業用地造成事業	46万円	46万円	0万円	0.00%	
	特別会計合計	172億7055万円	178億4917万円	5億7862万円	3.35%	
	合計	445億1055万円	428億7917万円	△16億3137万円	△3.67%	

「新規就業支援事業」に  
2711万円

2711万円

給付要件を満たす青年就農者に対して、青年就業給付金（経営開始型）を年間150万円、給付金として給付します。

「市営松の木団地建替事業」に  
2億2490万円

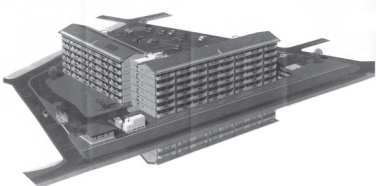
2億2490万円

松の木団地建替事業を行っており、平成25年度から第2期事業に入っています。

「市長選挙事務」に  
2300万円

2300万円

4月20日投開票の市長選挙の管理執行に要する費用です。



松の木団地完成予定図

# 骨格予算で 前年比



**一般会計当初予算 250.3 億円 (前年: 272.4 億円)**  
**特別会計当初予算 178.4 億円 (前年: 172.7 億円)**

「中小企業者等事業  
資金融資資金」に  
1億円

市内の金融機関に預託し、市内に住所を有する中小企業へ融資を行うもので、融資限度額は1000万円です。

「コミュニティバス  
事業費」に  
4280万円

市が主宰する各種コミュニティバス(あいのりタクシ-8路線、朝倉地域コミュニティバス、あいのりスクールバス)の運行事業費です。

「絶滅危惧種保全事業」に  
188万円

スイゼンジノリが自生する黄金川の保全に取り組む「黄金川を守る会」に補助金を交付し、財政的支援を行います。

黄金川の流水を確保するための、ポンプによる地下水の揚水や、スイゼンジノリの生育環境を整えるための河川環境の整備などが行われます。

「子ども医療費支援」に  
1億3650万円

小学校就学前の乳幼児に対して「乳幼児医療証」を交付し、入院・入院外の医療費の一部を助成します。また、小学1年生から6年生までの児童に対して、入院に係る医療費の一部を助成します。

「子育て世帯臨時特  
例給付事業」及び「臨  
時福祉給付金給付事  
業」に  
2億5073万円

4月からの消費税引き上げに際し、臨時的な給付措置として実施します。

子育て世帯臨時特例給付事業は、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図るものです。臨時福祉給付金給付事業は、低所得者の負担を考え、社会保障の充実と併せ、適切な配慮を行うもので、交付金の全額を国が負担します。

「杷木地域小学校統  
合関係事業」に  
8133万円

杷木地域の新設小学校建設のために、実施設計や境界確定、地質調査などを行います。

「甘木地区中心市街  
地整備事業(2期)」  
に  
7億3119万円

甘木市街地の活性化を狙った中心市街地整備事業の2期工事で、測量設計、土質調査、不動産鑑定評価、建物調査、道路工事、用地買収などを行います。



綺麗に整備された  
竹原・水町線

固定資産税率の  
引き下げ

平成26年4月1日から、固定資産税率を0.05%引き下げ1.50%となります。

どうぞご利用ください





# 徹底

# チェック



平成26年度朝倉市一般会計予算については、3月定例会で、議長を除く19人の議員で構成される予算審査特別委員会を設置し、4日間の日程で審査し、原案のとおり可決しました。

その中で取り上げられたいくつかの質疑・応答を要約して紹介します。

**Q** 朝倉農業高校跡地は朝倉市の活性化、特に農業の活性化のための拠点にするという思いがあったと思う。予算には維持管理費のみの計上であるが、この一年間、どのような計画をされているのか。

**A** 今後の計画や活用のための新たな取り組み

**Q** 朝倉農業高校跡地は、新市長の考えを踏まえるべきだと考えているので、今回予算は計上していない。

**A** 事業としては既に取り組んでいるので、4月

**Q** 朝農跡地の今後の計画は

**A** 新市長の考えを踏まえて予算計上したい

**Q** 緊急通報システムの評価は

**A** 利点は多く、システムによる救急搬送の事例も確認している

**Q** 緊急通報システムが平成25年度から新しく構築されたが、評価を聞かせていただきたい。

**A** 今までの固定電話から携帯電話に形態を変えたことと、充電器に人感センサーがあるので、毎日その方の安否が確認できるということが利点である。携帯電話になったので当初は使いづらいということもあったが、今はそのような声はない。

実際、緊急通報システムで何件か救急搬送された。すぐ緊急のボタンを引くのではなく、まずは「ちょっと具合が悪い」と相談されて、そこからコールセンターで判断を行い救急搬送されたという事例もある。



新市長の計画に期待

以降に休止するわけではない。新市長になるまでも逐次、対外的な交渉やインフラの整備などを進めているので、間違いなく一歩一歩進んでいく。

**Q** 下水道課に続き、水道課の窓口業務委託の可能性は

**A** 業務委託は下水道課が先行したが、今後も継続して検討を行う。

**Q** 下水道課が窓口業務委託を行っているが、以前、業務改善の中で水道課も業務委託をという項目があったと思う。今後水道課の窓口の業務委託は考えられるのか。

**A** 当初から下水道課と一緒に窓口業務委託を行うということで検討していたが、最終的に下水道課が先行し、諸般の事情で水道課は業務委託にはならなかった。今後も継続して検討は行っていきたい。

**Q** 新秋月郷土館は朝倉市にとって交流人口をふやす観光の目玉でもあり、文化的にも非常に重要な施設であると認識している。

**A** 建設のタイムスケジュールはどうなっているか。

**A** 観光地であり、観光シーズンに工事が出来ないなどあつてはつきりとは言えないが、計画的に言えば平成29年度ぐらいまでかかるだろうと思っている。関係機関との協議も必要なので、全力を挙げて取り組む。

**Q** 新秋月郷土館の建設スケジュールは

**A** 平成29年度完成を目指す

# 予算を

**Q** 橋梁や道路の補修、維持管理の対策を行うべきだ

**A** 市民の快適な暮らしのために積極的に取り組む

**Q** 現在市道に架かっている橋も寿命にきているものがある中で、橋梁の寿命化や道路改良、道路新設などの予算について、投資的な予算がとても少ないような気がする。合併の優遇措置がある間、平成27年度くらいまでには、ある程度の対策を行わないと財政的に厳しくなってくるのではないかと。

**A** 橋梁について、点検は全部終了した。他の市町村よりも早く進んでいると思っている。平成26年度は道路の寿命化に向けての調査に入り、さらに平成27年度から橋梁の特に危険な箇所を補修や新設を行う。市民の皆様の快適な暮らしができるよう、橋梁、道路等の補修、維持管理等に積極的に取り組む。今回は骨格的な編成なので政策的な判断を要するものは今回提出していないが、今後、補正などで議会にも提案していきたいと考えている。

**Q** ファイナンシャルプランナーの積極的な活用を

**A** 費用対効果を見て考えていきたい

**Q** ファイナンシャルプランニング委託料が64万8千円上がっている。当初は100万円程度かかるだろうと言われていたが、それだけの効果が出るのであれば、費用対効果からしても、もっと積極的に取り入れてもよいのではないかと。これを積極的に活用し、平成26年度の目玉として税を確保していくということの大きな柱にすべきであると思うが。

**A** ファイナンシャルプランナーの仕事量の関係で、月に1回来るのが限度だということ、今回予算額を算出している。効果が上がるとなれば、現在委託をしている他の方を紹介してもらおうなども今後考えられる。

一定の効果がみられることから、費用対効果を見ながら、今後のことについては考えていきたい。相談件数が増えれば、長期的な効果も見えてくるのではないかと考えている。

**Q** 黄金川の水源保護のための政策は

**A** 方法を模索し検討する

**Q** 骨格予算ではあるが、水源保護、水量増の観点から、森づくり等の政策は考えてあるのか。

**A** 将来のことは言いにくいですが、県の予算で来年度と再来年度の2カ年で黄金川の200メートルを保存区域として年間600万円を計上されるような報道もある。アドバイザーの提言を聞きながら、水量を増やす方法を模索しながら検討していきたい。



黄金川の水量を増やすための積極的な施策を

**Q** バサロと三連水車の里あさくらの経営改善の具体策がみえない

**A** 積極的に指導、助言を行いたい

**Q** 今日まで再三に亘ってバサロと三連水車の里あさくらの運営の厳しさを指摘してきた。経営改善の具体策が見えない今回の予算説明や予算編成のあり方は残念である。また、独立採算が基本である指定管理制度に、指定管理料を払い続けることにも疑問が残る。

**A** 取締役会に課長がオブザーバーで入るなど、待ちの姿勢ではなく積極的に出向いて、助言や指導を行っていきたい。また、指定管理料の金額や、いつまで続けるかといった問題は、もちろん検討が必要だと思っている。



経営改善が急務である